

正しくないが間違っていない状態を迷いと言います

安全保障の法案で与野党対決しています。戦争反対を掲げてデモをしている人もいます。

政府は、「このままでは戦争に巻き込まれる」と言います。反対派は、「今のままの法律が戦争回避になる」といいます。

どちらが正しいのでしょうか、それはどちらも正しくないから、平行線なのです。もし正しいことを言えば、相手は反論しませんしそれ以外の案は消滅します。例えて言うなら $1+1=2$ という答え以外の答えは出ないのと同じです。

賛成反対の人の思いは、「今ここで動かないと、後になって後悔してしまう」という思いにかられて行動していると思います。

スタートの場所も同じで、目指す場所も「平和」で同じですが、どちらの道も真実の平和には到達しないから、対立しているのです。

お互いが妥協して法案を作成しても、どちらも正しくない答えなので、作り上げた法案も正解ではありません。不完全だからしばらくすると歪が生じてきて時代に合わなくて改正という変化が生じるのです。それを迷いと言います。

南無阿弥陀仏の教えは、自分を越えた領域を見せて下さるから、迷っている自分が見えるのです。

賛成反対どちらの意見も耳を傾けられる立場になって、それに振り回されない自分に成長できるのです。それをご利益と言います。合掌

写真は興元寺フリーマーケット

